

開催報告

2021年 8～11月

☆ マンション管理実践講座 2021 (オンライン) ☆

8/28 (土) No.127: 自然災害への管理組合の備え

講師: NPO 法人 マンション管理支援の関住協 世話人会副代表 河上勲

関住協が2018年に管理組合会員を対象におこなったアンケート結果や、実際の取組み事例をもとに、マンションの防災について考えました。想定される自然災害に対して初めから完璧に備えようとせず、居住者個人がおこなう備えと管理組合がおこなう備えを明確にし、それぞれ手をつけられそうなところから始めようとのアドバイスがありました。

9/25 (土) No.128: いざという時に頼りになる、防災設備・消火設備・避難設備

講師: 主任専門委員 上田健一 (一級建築士)

普段何気なくマンション内のどこかで目にしている設備や機器をピックアップし、それらの役割と日常的な維持管理、点検、非常時の使用方法について説明しました。アンケートでは「(防災関連設備について)まとめて聞く機会は少ないので、たいへん参考になった」などの感想をいただきました。

10/30 (土) No.129: ここがポイント! 大規模改修工事

講師: 主任専門委員 塩田悦司 (一級建築士・マンション管理士)

マンションの大規模改修工事について、おおまかな流れと、管理組合が知っておくべき事項、注意しなければならないポイントについて説明しました。管理組合の一大事業を乗り切るためには、まずはしっかりとした体制をつくり、信頼できる専門家を選んで、けれども何事も任せきりにしないことが大切だと締めくくりました。

11/27 (土) No.130: これからの長期修繕計画

講師: 主任専門委員 中島幸博 (一級建築士)

今年9月に国土交通省は、長期修繕計画の作成や修繕積立金に関するガイドラインを見直して公表しています。長期修繕計画に含まれる複雑な表やグラフ、工事項目の明細などがどういう内容を表現しているのか、今回の改訂を踏まえて解説しました。それとともに修繕積立金についての考え方、積立金の目安となる算出方法なども紹介しました。

これをもって、マンション管理実践講座2021の予定講座はすべて終了しました。不慣れだったオンラインのための機材の操作なども、回を重ねて幾分スムーズにできるようになってきました。皆さま、あたたかくお付き合いいただきありがとうございました。

☆ 講師派遣 ☆

10/23 (土) NPO 法人 福岡マンション管理組合連合会主催 秋のマンションセミナー

「経年数ではなく管種が決め手～一般耐用年数に惑わされない給排水設備の改修を～」

講師: 主任専門委員 大槻博司 (一級建築士)

給排水管の改修時期は管種(配管材料)によって大きな差がありますので、一般的な耐用年数で判断するのではなく、まずは管種を確認し、必要に応じて25年から30年の頃に内視調査をおこなってから改修時期を検討しましょう、という主旨で事例を交えてお話ししました。福岡マンション管理組合連合会は日本最大の管理組合団体で、毎年春秋に大規模なセミナーを開催しており、例年は200人規模ですが今年は定員の半分で100人でした。質疑は書面で提出してもらった形式だったにもかかわらず、たくさんの質問が寄せられ、関心の高さ、熱心さがうかがわれました。



マンションドクター®
編集・発行: 特定非営利活動法人 集合住宅維持管理機構
〒542-0081 大阪市中央区南船場1丁目13番27号 アイカビル4階
TEL 06-4708-7790 FAX 06-4708-7791
<https://www.kikou.gr.jp/>
「マンションドクター」は商標法にもとづく登録商標です。



マンションドクターニュースをご希望の方は、上記までお問い合わせください。